



## どこまでが愛？ どこからがDV？



### ❁ 恋人を「怖い」と思ったことはありませんか？

好きな人と一緒にいるはずなのに、つらい思いや我慢ばかりしていたり、相手の顔色をうかがってびくびくしたり…もしかしたら、それは、**交際相手からの暴力、いわゆるデートDV**かもしれません。殴る、蹴るの身体的暴力だけが暴力ではありません。相手を束縛したり支配しようとするのも暴力です。

#### 身体的暴力

殴る、たたく、蹴る、物を投げつける等

#### 経済的暴力

借りたお金を返さない、貢がせる、デート費用をまったく払わない等

#### 精神的暴力

行動や交友関係を制限する、スマホをチェックする、大声で怒鳴る等

#### 性暴力

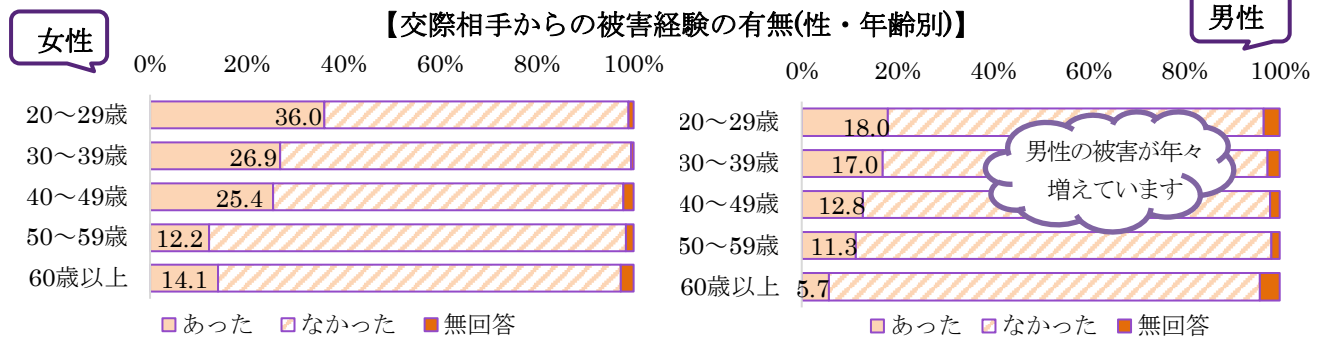
性行為を強要する、避妊に協力しない、無理やり裸を撮影する等

### ❁ 暴力を振るわれていい人などひとりもいません。

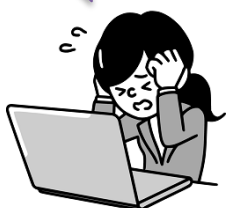
嫌なことは「NO」と言っているのです。自分を守るために相手から離れることも必要です。別れることに相手のOKはいりません。

### ❁ ひとりで悩まないで相談してみましょう。

相談してみることで、ひとりでは気づかなかった解決方法が見つかるかもしれません。



別れた相手に性的画像を拡散されそう！



### リベンジポルノ等の被害防止へ

ふられた腹いせに、本人の同意なくネット上に裸の画像や動画を公開される「リベンジポルノ」の被害が発生しています。「裸の写真を撮らせて」と言われたら、交際相手であってもきっぱりと断りましょう。SNS上では、画像は瞬時に拡散してしまいます。プロバイダ等を通じて削除してもらうためにも、できる限り早く警察署に相談してください。

### おもな相談窓口

ねりま DV 専用ダイヤル / 03-5393-3434

月～金 9時～21時

(土日は19時まで、祝日は17時まで、年末年始を除く)

練馬区立男女共同参画センターえーる相談室

03-3996-9050 毎日 9時～19時

(祝日は17時まで、年末年始および施設点検日を除く)

練馬区総合福祉事務所相談係

練馬 03-5984-4742

光が丘 03-5997-7714

石神井 03-5393-2802

大泉 03-5905-5263

月～金 8時30分～17時15分(祝日、年末年始を除く)

東京ウィメンズプラザ / 03-5467-2455

9時～21時 (年末年始を除く)



### 虐待・親にもケアを

森田ゆり著  
築地書館 2018

子ども虐待とは、これまで人として尊重されなかった痛みや悲しみを怒りの形で子どもに爆発させる行動である。著者は、そんな苦しみを抱える親の心をケアする「MY TREEペアレンツ・プログラム」を開発し、実践者を養成している。子ども虐待の解決に不可欠なのは、親が生きる力を取り戻す事



### うつ時々、躁

海空るり著  
岩波書店 2019

「ここで車にひかれたら楽になれるのに…」多忙を極め身体に異変が起き始めた。うつと診断され7年、さらに双極性障害と診断され7年。うつと躁の波に翻弄されながらも家族や医師、SNSで出会った当事者等の支えで、本書を執筆するまでに回復。患者のための情報とみずからの軌跡を綴るエッセイ。

## 新着図書紹介



### マイ・ストーリー

ミシェル・オバマ著  
長尾莉紗、柴田さとみ訳  
集英社 2019

ミシェル・オバマは、プリンストン大学で学んでいた時、教室の中のたった一人の黒人だった。ハーバード大を出て弁護士として働いていた時、自分の人生を変える彼と出会った。2009年から2017年までアメリカ合衆国のファーストレディだった彼女が、今、人生を振り返り、大胆にありのままを語る。



### 障害のある子が将来にわたって受けられるサービスのすべて

渡部伸著  
自由国民社 2019

障害者を取り巻く法律や制度は近年大きく変化している。本書は、障害があることで利用できる福祉サービス、公的支援、経済的なサポート制度などを本人の年代やシーンごとに紹介。今後、将来に向けて何を準備すべきかが見えてくる。



### 日本の未来は女性が決める!

ビル・エモット著  
日本経済新聞出版社 2019

英「エコノミスト」元編集長の著者が様々な職種の日本女性にインタビュー。今後「男女のバランスの取れた日本」に本当の意味で変化すれば、30代40代の女性の活躍によって輝かしい日本の未来が約束されるだろう。だが、いま日本は、最大の資源である「人」を無駄遣いしているという。

テーマで読む1冊

「支配しない男」になる  
沼崎一郎著

文化人類学者の著者がフェミニズム運動に参加するようになったのは、「別姓」結婚や、育児、DV被害者への支援活動をする中で、「政治的なこと」が、実はこの「私」がどうするかという「個人的なこと」であることに気づいたからだという。自分自身と世間常識に潜んでいた差別と抑圧と暴力。「支配しない男」になるために、「支配する男」たちが作り上げてきた諸制度と文化を変える運動を著者は続けていく。(ぷねうま舎 2019)





# 時代を拓いた女たち

たかはし みすこ  
高橋 瑞子

嘉永5年(1852年)～昭和2年(1927年)

『男なんざ、まっぴらだね。くだらない亭主を持って、あくせく苦勞するより、やりたいことを存分にやれる独りぐらしのほうが、どれだけさばさばしてるかしれないよ』

荻野吟子、生沢クノに続く日本の女医第三号。「荻野吟子を女医の生みの親とすれば、育ての親に当たるのが高橋瑞子である。」と、東京女医学校(現・東京女子医大)を創設した吉岡弥生は言っている。

瑞子は嘉永5年、西尾藩(現在の愛知県西尾市)の中級武士の家に、6男3女の末っ子として生まれた。11歳の時父が病死し、まもなく母も亡くなり、長兄夫婦のもと厄介者扱いされながらも遅く育った。婚期の遅れた彼女は25歳の時、東京の伯母から養女に迎えたいとの申し出があり上京すると、養子も迎えられていて結婚することになるが、1年余りで破綻。生家にも戻らず、女性が自活していくことは並大抵のことではなかった時代に、彼女は自立の道として手に職をつけることを決心。彼女が考えた手職は、産婆(助産師)であった。つてを頼り、前橋の産婆・津久井磯子の助手となる。津久井産院に住み込み、猛勉強した彼女は磯子に認められ、東京の私立産婆学校紅杏塾に入学させてもらう。

明治15年、30歳で産婆の資格を得たが、向学心の強い瑞子は、産婆学校で学びながら産婦人科の女医になるという大きな希望を描いていた。前橋の産院で学費を稼いでは医学を勉強するという苦学の真ただ中、新聞記事で荻野吟子の「医術開業試験前期試験合格」を知るやいなや上京。負けん気の強い瑞子は、男子のみに門戸を開いていた済生学舎に入学を

求め、三日三晩校門に立ち尽くし、校長に直談判し入学を許可された。当時医師になるには、「内務省医術開業試験」に合格することが条件で、多くは大学で勉強し医師試験を目指した。済生学舎は経済的理由や学力不足で大学入学が困難な男子が、医学を学べる予備校として、長谷川泰により設立された。女性である瑞子の入学は、まさに体当たりで時代の扉をこじ開けたと言える。閉校までの20年間にこの門をくぐった女性性は、400～500人に達したという。吉岡弥生もその一人である。たった一人の女子学生である瑞子は、男子学生に解剖学の授業を妨害されるなど理不尽な扱いをされながらも勉学に専念し、明治20年、女医三号として免許を取得。日本橋で産科・婦人科医院を開業する。医院は繁盛したが、医師としての力不足を日々感じ、男性医師に追いつくためにと、ドイツへの留学を決行。しかし無理がたたり嗜血し1年で帰国。帰国後は元の日本橋で開業し、ドイツ帰りの女医として多くの人に慕われた。男性のように骨太で、頭も短髪にし、男衣装を身に付け、車夫からは旦那と呼ばれていた。豪快で思いっきりがよい瑞子は、60歳になると「老いると誤診をするから」と、あっさり引退。

昭和2年、吉岡弥生に「自分の遺体のすべてを教材として使うように」と遺言し、76歳で人生に幕を下した。東京女子医大に骨格標本として保存され、献体の精神は今も引き継がれている。

参考図書:「理系の扉を開いた日本の女性たち」「先駆者たちの肖像」



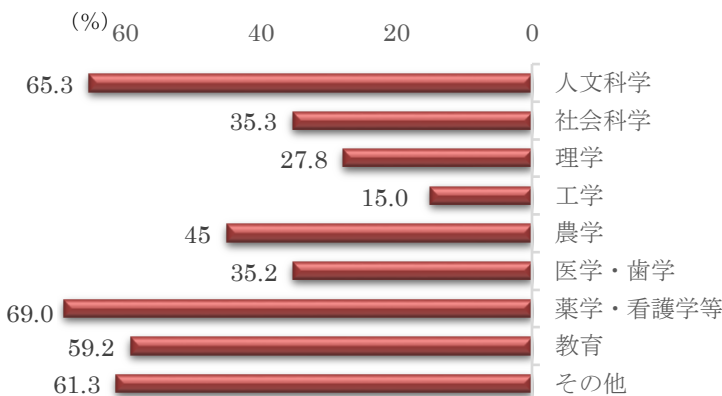
## 理工チャレンジ(リコチャレ)

<http://www.gender.go.jp/c-challenge/>

理工系分野に興味がある女子中高生・女子学生が、将来の自分をしっかりイメージして進路選択(チャレンジ)することを応援するため、内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取組です。女性が様々な分野にチャレンジしていくことにより、多様な視点や発想が加わり、活力ある生き生きとした社会の実現が期待されます。



大学(学部) 学生に占める女子学生の割合



参考資料: 令和元年版男女共同参画白書

# にゅーすBOX

## 医学部入学 女子の比率増

文部科学省の学校基本調査(速報)によると、平成31年春に大学の医学部医学科に入学した女子学生の比率が前年度比2.5ポイント増の37.2%になった。私立大では女子の比率が4割を超えた。国立は33.7%、公立は31.8%でいずれも増加している。医学部入試を巡っては、昨年一部の大学で女子受験生らを不利に扱う不正が発覚。文科省が改善を求めた結果、性別による差別の解消が進んだ可能性がある。

## 国家公務員男性 育休最多

人事院の発表によると、平成30年度の男性国家公務員(一般職)の育児休業の取得率が、前年度比3.5ポイント増の21.6%だった。取得した男性の数も千350人で過去最多。人事院は「育休取得を言い出しやすい環境になってきたのではないかと分析。

## 单身女性 貧困問題

老後生活の基礎となる年金の受給額が低く、就労も困難な高齢貧困層が増えている。厚生労働省の調査によると、平成30年10月時点で生活保護を受給する65歳以上は約100万人で、増加している。国際医療福祉大の稲垣教授は、特に单身女性の貧困に警鐘を鳴らしている。未婚・離婚の女性は自身の年金のみで、現役時代、男性と賃金差があると受給額も低い。一方、平均寿命は長く、貧困が長期化する恐れもある。稲垣教授によると、令和32年には未婚・離婚の高齢女性の貧困率は45%に達するという。

## 女性取締役 上場企業で千人超える

東証1部上場企業の取締役のうち女性は千111人(5.7%)で昨年より5割以上増加(企業統治助言会社プロネット調べ)した。このうち社外取締役が80%を占め、社内取締役は20%。女性社外取締役を起用する企業は35.8%でほぼ3社に1社が起用。英国で発足した、女性役員比率の3割達成を目指して企業のトップが参加する「30%クラブ」が国内で5月から始動している。

## 練馬こども園 新たに3園認定

練馬区は、区独自の幼保一元化施設「練馬こども園」を新たに3園認定した(合計18園)。練馬こども園は、全国に先駆けて創設したもので、通年で11時間の預かり保育などを行う私立幼稚園を、区が独自に認定する制度。保護者の選択の幅が広がり、共働き家庭などからも利用されている。令和元年度から、新たに通年で9時間以上の預かり保育や、3歳児未満児を対象とした預かり保育を実施する園も練馬こども園として認定する。

## 管理職目指す意識 男女差広がる

国立女性教育会館が入社4年目の男女を対象にした調査で、「管理職を目指したい」「どちらかという目指したい」と回答した男性は82.9%、女性は約半分の43.3%だった。「管理職を目指したくない」「どちらかという目指したくない」と回答した男女にその理由を尋ねると、女性は「仕事と家庭の両立が困難になるから」が67.7%。男性は「仕事の量が増えるから」が46.9%で最多、「仕事と家庭の両立が困難になるから」は32.1%。性による固定的な役割分業を強いる社会構造はなお根強いことがうかがえる。国際労働機関(ILO)によると、平成30年時点で、日本で管理職に女性が占める割合は14.9%にとどまり、主要7か国(G7)で最も低い水準。

## スマホ型端末で加害者照会

警察庁はDV・ストーカー対策を強化するため、通報で駆けつけた警察官が、携帯端末で加害者の氏名から過去に警告や禁止命令を受けていないかなどの情報を瞬時に照会できる仕組みを導入する方針。現在は現場から警察署に問い合わせ、署が本部の照会センターに連絡し、結果を署から現場に伝えているため、導入により対応の迅速化を図れる。

## 児童虐待 最多

全国の児童相談所で平成30年度に対応した児童虐待件数(速報値)が、前年度比19.5%増の15万9千850件で、過去最多だったことが厚生労働省のまとめでわかった。警察などからの通告が半数を占めている。虐待の内容別では、子どもの前で家族に暴力を振るう「面前DV」などの心理的虐待が8万8千389件(55.3%)で最多だった。

## 既婚女性 5割「別姓賛成」

国立社会保障・人口問題研究所の「全国家庭動向調査」によると、夫婦は別姓でもよいと考える既婚女性が50.5%に上り、平成5年の調査開始以来、初めて5割を超えた。同調査は5年毎の実施で、6回目の今回、同性カップルへの考え方も初めて尋ねたところ、同性婚を法律で認めるべきと考える既婚女性も69.5%に上り、同研究所は「家族観の多様化が進んでいる」としている。

## 日本 公的教育支出 最下位 OECD

経済協力開発機構(OECD)は、平成28年に加盟各国が小学校から大学に相当する教育機関に対して行った公的支出の国内総生産(GDP)に占める割合を発表した。OECD平均は4.0%。日本は2.9%で、比較可能な35か国のうち3年連続最下位だった。

